～第64回日本小児保健協会学術集会を開催するにあたって～

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

この度、第64回日本小児保健協会学術集会の会頭を仰せつかり、平成29年(2017年)6月29日(木)～7月1日(土)の 3 日間、大阪国際会議場で開催する運びとなり、現在、鋭意準備を進めております。本学術集会は医師、看護師、保健師、教員など子どもの健康や成長・発達、そして医療に関係する多職種のプロフェッショナルにより構成される公益社団法人・日本小児保健協会が開催するものです。他の学術集会では見られない多職種間の交流や議論を行うことができますので、子ども達の健康と福祉を支えていく上で大きな力になっております。

近年、小児医療は劇的に変容しています。2000年以前の小児科医は主に感染症(ロタウイルス感染症、インフルエンザ、細菌性髄膜炎など)の治療を主たる業務としていましたが、予防接種を始めとする予防医学の進歩、抗インフルエンザ薬を代表とする新薬開発の恩恵と少子化の影響で、感染症に対する脅威は大きく減少しました。一方で、従来、目を向けられなかった小児の医療分野、すなわち発達に障がいを持つ子どもたちへの支援に重心が移ってきました。子どもは社会の希望であり、未来の力です。次代の社会を担う子どもを安心して生み、育てることができる環境を整備し、子どもが健やかに育つことができる社会の実現のためには国民全員の協力が必須です。わが国の少子化傾向に対して私たち小児医療従事者にできることは限られているかも知れません。しかし生を受けた子どもたちが身体的な疾病を患ったときのみならず、心を病んだときにも私たち皆がサポーターになってあげたいという気持ちを込めて、本学術集会のメインテーマを「すべては子どものために ～All For the Children～」といたしました。

学術集会では一般演題の他に、会頭講演、基調講演、会長講演、特別講演、シンポジウム、教育講演、ミニシンポジウム、市民公開講座、ランチョンセミナー、モーニングセミナーといったたくさんの講演や若手会員の方々に積極的に演題を応募頂きたいと考えて、企画をしました。特に特別講演ではStein教授ご夫妻をお招きし、講演頂けることになりました。Martin Stein先生は米国の小児の発達障がい診療の第一人者です。少しでも多くの方に講演内容を理解頂き、活発に質疑をして頂きたいという気持ちから同時通訳をご用意しております。是非、お聴き頂ければと存じます。また本協会の若手会員の方々に積極的に演題応募を頂きたいという思いから、若手奨励賞を設け、優秀な一般演題を表彰させて頂くことにいたしました。情報交換会の場で授賞式を行いますので、若手会員を祝福するためにも是非ともご臨席賜りますよう、お願い申し上げます。

様々な企画を用意いたして皆様のご参加をお待ちしております。

敬白

第64回日本小児保健協会学術集会
会　頭　**金子　一成**
(関西医科大学　小児科学講座)

Presented by Medical*Online